

主要施策名:(2)環境保全への意識啓発

事務事業本数:3

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
①自然と暮らしを守るふるさとづくり	(2)環境保全への意識啓発	(2)環境保全活動の支援	122-1	環境美化推進事業	環境整備課
		(1)環境保全意識の向上	121-1	ふるさと玉名の環境づくり事業	環境整備課
		(3)公害の防止	123-1	公害防止対策事業	環境整備課

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	環境美化推進事業			所管課 【2】	環境整備課						
				作成者(担当者)	坂田 拓哉						
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①自然と暮らしを守るふるさとづくり				重点 施策 【4】					
	主要施策(節)	(2)環境保全への意識啓発									
	施策区分	(2)環境保全活動の支援				<input type="checkbox"/> 該当					
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市環境美化に関する条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市環境行動指針 】 <input type="checkbox"/> 該当なし										
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務										
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】			款	4	項	1	目	4	細目	1

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	ごみのポイ捨て、不法投棄のない、清潔で住みよいまちの実現	
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、事業者、	
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	市民の環境に対する意識啓発と地域の環境美化に努め、ごみや不法投棄のない清潔で快適な街並みの実現を図る。	

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】					
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】					
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】					
事務事業の具体的内容 【14】	・菊池川・裏川及び繁根木川の清掃作業を定期的に行っている団体に対し奨励費を交付する。 ・年1回環境美化行動・クリーン作戦を開催し、全市民に対し居住区域の清掃活動参加を促進している。 ⇒ 【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ① 河川清掃業務補助事業 ② 環境美化行動・クリーン作戦事業 ③					

《事務事業実施に係るコスト》

		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	100	102	100	102	
	【16】 小 計	100	102	100	102	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0		
	職 人 員 の 費	職員人工数	0.45	0.45	0.45	0.45	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,476	5,476	
		会計年度任用職員の人件費(千円)				0	
		【17】 小 計	2,666	2,653	2,464	2,464	
	合 計		2,766	2,755	2,564	2,566	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 河川清掃業務補助事業	河川清掃活動を行う団体に報償費を交付する。	団体活動回数	回	20	20	17	20
② 環境美化行動・クリーン作戦事業	市民や関係団体に参加を呼びかけ清掃作業を行う。	参加区数	区	91	104	75	100
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算		
	対象(市民)	67242	66850	66319	65817		
	投入コスト合計(千円)	2,766	2,755	2,564	2,566		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0		
コスト評価(対前年比)	***	99.83%	(↓)	106.60%	(↑)	99.15%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 清掃活動参加人数	環境美化行動・クリーン作戦への参加人数	人	5500	5500	5500	5500
			5702	7274	5921	
2 清掃活動ごみ回収量	環境美化行動・クリーン作戦で回収したごみの量	t	6.93	6.39	5.00	—
			6.39	7.0	7.02	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(なじまない)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	ボランティア袋使用について用途説明の上必要数を配布し、美化活動の支援を行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	A		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	時期を特定せず、通年活動として、市民モラルの向上、ボランティア活動の活性化を啓発していく。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	環境美化行動(クリーン作戦)を開催することで、不適正管理地の発見や地域内の環境美化に対する意識の高揚が図られ、分別やごみの減量化への意識づけにもつながることから事業を継続する必要がある。	評価責任者 塚本 昭広
----------------------	---	----------------

事務事業コード	121-1
---------	-------

実施	令和02年度(令和元年度実績)
----	-----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	ふるさと玉名の環境づくり事業			所管課【2】	環境整備課	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①自然と暮らしを守るふるさとづくり				重点 施策【4】
	主要施策(節)	(2)環境保全への意識啓発				□ 該当
	施策区分	(1)環境保全意識の向上				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約 □ 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0千円】 ■ 法令、県・市条例等【 玉名市環境基本条例 】 □ その他の計画【 】 ■ 該当なし					
事業区分 【6】	■ ソフト事業 □ 義務的事業 □ 建設・整備事業 □ 施設の維持管理事業 □ 内部管理事務 □ 計画等の策定事務					
会計区分 【7】	■ 一般会計 □ 特別・企業会計【 】 款 4 項 1 目 4 細目 6					

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	良好で快適な環境の保全と創造に関する基本理念を定めた「玉名市環境基本条例」の周知と、「玉名市環境基本計画」にある環境行動指針に基づき、市民一人ひとり、企業、事業所の環境保全意識の向上を図り、行動に結びつける必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、玉名の環境づくりを行う団体、自然環境
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	環境にやさしいまちづくりを推進するため、各種関係団体と連携し、環境保全に対する市民の意識向上を図ります。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ ■ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 【 年度】 【 H21 年度から】 【 年度～ 年度まで】				
事業主体 【12】	□ 国 □ 県 ■ 市 □ 民間 □ その他【 】				
実施方法 【13】	■ 直営 □ 全部委託・請負 □ 一部委託・請負 □ 補助金等交付 □ その他【 】				
事務事業の具体的内容 【14】	環境基本計画に基づき、環境行動チェックリストを活用し市民や事業者などの環境保全意識の向上を図る。市外居住者から寄附されたふるさと納税制度の寄附金を活用し、市内の小中学生を対象とした環境教育を実施するとともに、環境保全団体等への補助金交付などにより環境保全活動を支援する玉名地球温暖化対策地域協議会と連携し、市民・事業者等への啓発活動を推進する。				
	【15】 事務事業を構成する細事業(5)本 ⇒ ① 環境基本計画進捗管理業務 ② 自然環境の保全業務 ③ 地球温暖化対策実行計画推進業務				

《事務事業実施に係るコスト》

		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	9,599	1,689	614	971	
	【16】 小計	9,599	1,689	614	971	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0			
	職員人件費	職員人工数	0.00	0.84	0.84	0.84	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,476	5,476	
		会計年度任用職員の人件費(千円)				0	
		【17】 小計	0	4,953	4,600	4,600	
合 計		9,599	6,642	5,214	5,571		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 環境基本計画進捗管理業務	市内の小中学生を対象として環境教育を実施する。	実施件数	件	10	4	6	6
② 自然環境の保全業務	玉名の環境づくりを行う団体等に補助金を交付する。	補助金交付件数	件	1	1	5	5
③ 地球温暖化対策実行計画推進業務	生物多様性など自然環境を保全するための啓発活動を行う。	実施件数	件	***	1	1	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算		
	対象(市民)	67242	66850	66319	65817		
投入コスト合計(千円)	9,599	6,642	5,214	5,571			
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0			
コスト評価(対前年比)	***	143.67%	(↑)	126.38%	(↑)	92.89%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 環境教育事業参加児童数	小中学生対象に実施した環境教育の参加人数	人	100	100	100	100
			117	128	145	
2 団体等活動日数	寄附金活用した団体等の活動日数	日	0	0	0	40
			0	0	43	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担金はなじまない。) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	「玉名市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」として平成30年2月に改定した計画に基づき進捗管理を行い、推進委員会、本部会議に報告後、公表した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	玉名市地球温暖化対策会議事務局として、管財課、営繕課と連携し玉名市地球温暖化対策実行計画の進捗管理を行うと共に、推進委員会、本部会議へ報告した内容をホームページで公表していく。また、環境基本計画を活用し本市の小学校児童等へ環境教育を実施し、意識啓発等に努める。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	平成31年度を初年度とする第2次環境基本計画を策定したことから、掲載した事業の進捗管理を行うとともに、地球温暖化対策実行計画に掲げた目標達成に向けて関係部署と連携して排出量の削減に向けた取り組みを継続して行う必要がある。	評価責任者 塚本 昭広
----------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

<<基本情報>>

Table with 7 main rows for basic information: 1. Name (公害防止対策事業), 2. Plan position (Basic objectives, Main strategies, Strategy classification), 5. Implementation basis (Municipal covenants, Laws, etc.), 6. Business classification (Soft business, Obligatory business, etc.), 7. Accounting classification (General accounting, Special business accounting).

<<事務事業の目的>>

Table with 3 rows for purpose: 8. Background (Odors, noise, vibration affecting citizens' environment), 9. Targets (Citizens, businesses, etc.), 10. Intentions (Responding to citizens' complaints to prevent damage).

<<事務事業の概要>>

Table with 4 rows for overview: 11. Period (Annual, Repeat, Limited), 12. Main body (National, Prefectural, City, etc.), 13. Implementation method (Direct, Commissioned, etc.), 14. Specific content (Adequate life, information collection, etc.) with a list of tasks.

<<事務事業実施に係るコスト>>

Cost breakdown table with columns for H29, H30, R01, R02, and Overall Plan. Rows include: 1. Business costs (Subtotal 2,262), 2. Staff costs (Subtotal 6,162), 3. Grand total (8,424).

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 公害苦情処理業務	苦情申立による現場確認や指導を行う。	対応件数	件	19	20	11	20
② 水質事故対策業務	事故発生時の油回収や中和作業で被害拡大を防ぐ。	対応件数	件	5	3	11	0
③ 野焼き行為対策業務	騒音・振動等に関する届出書受付や指導を行う。	届出件数	件	90	58	44	44

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(市民)	67242	66850	66319		65817	
	投入コスト合計(千円)	8,424	8,266	7,816		9,658	
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0		0	
コスト評価(対前年比)	***	101.32%	(↑)	104.92%	(↑)	80.31%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 公害苦情解決率	当該年度の公害苦情解決件数/当該年度の苦情対応件数	%	100	100	100	100
2			100	100	100	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標を設定している	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
		<input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	騒音、振動、悪臭等の公害や水質事故発生時には、国、県、庁内関係課等と協力し連携を図り、迅速な対応を行う。また、公害発生を事前に防止するために事業者訪問や啓発活動を引き続き実施していく。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		
総合判定	A		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	市民からの悪臭、騒音、振動などの苦情や市民の生活環境を脅かす苦情や突発的に油の流出事故発生への対応が行政に求められる。市民からの苦情や事故に適切に対応し、その解決を図り市民への公害被害を防止する必要がある。	評価責任者 塚本昭広
-------------------	---	---------------